

## 平成23年度第1回鹿児島市交通事業経営審議会 会議概要

### (日程・場所・出席者)

(日 程) 平成23年5月11日(水) 10:00~11:15

(場 所) 市役所みなと大通別館 201 会議室

(出席者) 委員7名

(事務局) 交通局総合企画課

### (会議の次第・配付資料)

(会次第) (1) 平成23年度鹿児島市交通事業特別会計予算

(2) 鹿児島市交通事業経営健全化計画

(3) その他

(配付資料) 資料1 平成23年度鹿児島市交通事業特別会計予算

資料2 鹿児島市交通事業経営健全化計画(変更点)

別冊1 平成23年度鹿児島市交通事業特別会計予算書

別冊2 鹿児島市交通事業経営健全化計画

## (協議の概要)

### (1) 平成 23 年度鹿児島市交通事業特別会計予算

	委員の意見・質疑等
1	<p>職員給与費の中で、給料と報酬に分かれているが、どのように区分されているのか。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>嘱託員が報酬であり、正職員が給料である。</p>
2	<p>観光レトロ電車で 123,900 千円の債務負担行為をされているということであるが、何台購入するのか。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>1 台である。</p> <p>台車を利用して製作するため、上の部分だけを替えることになる。</p>
3	<p>通常の車両では、幾ら掛かるのか。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>通常の車両では、約 8,000 万円である。</p> <p>レトロ電車仕様とするため、通常の車体更新よりは費用が掛かってしまう。</p>
4	<p>観光レトロ電車のイメージはどのようなものか。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>局内の車両検討委員会で検討している段階であるが、局の保有していた昔の車両のイメージである。</p>
5	<p>退職給与金を損益勘定とした理由は何か。</p> <p>また、資本勘定の土地売却代金について、説明いただきたい。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>退職給与金については、繰り延べで処理していたが、監査からの指摘を受け、見直しをした。</p> <p>但し、前年度の分が繰り延べで残っている部分もある。</p> <p>特別利益の土地の売却については、簿価については資本勘定で計上して、それを上回る額については、損益で計上している。</p>

委員の意見・質疑等	
6	<p>交通局リニューアル事業は企業債で充当することであるが、本年度の支出はどのようなものがあるのか。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>JT跡地の土地購入費、土地の地質調査、近接する8棟の建物調査、それと基本・実施設計である。</p>
7	<p>土地購入費は幾らなのか。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>約14億2500万円である。</p>
8	<p>燃料費については、ガソリン単価も上がってきているが、予算では単価をどのように見込んでいるのか。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>燃料費は、軽油がほとんどであるが、予算作成時に、直近の軽油単価で予算は計上している。</p> <p>お話にもあったように、3月以降軽油が上がってきており、この高止まりが続くと、この予算で賄えないのではないかと状況である。価格の変動を見ながら、予算の対応も必要になってくるのではないかと考えている。</p>
9	<p>軌道事業に比べ、バス事業の広告収入が半分位しかない。</p> <p>車両数はバスの方が多い。せめて、電車と同じ位の収入にならないものかと思う。見直し等を教えて欲しい。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>23年度予算の広告費は、22年度の決算見込みをベースに、健全化計画の増収対策として見込んだ効果額を上乗せして計上している。</p> <p>軌道事業と自動車事業を比べた場合、大きく違うのは車体広告費である。</p> <p>軌道事業は、5200万円ほど見込んでいるが、バスは590万円であり、約10分の1である。</p> <p>また、電車の車体の場合、全面を広告にできるが、バスの場合、小さな看板を掲げていたり、シールが貼ってあったりして、全面を広告にできる車両が少ない。</p>

委員の意見・質疑等	
10	<p>退職給与金を資本から経常に変更したとの説明であったが、変更したことによる利点は何か。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>退職給与金については、本来は損益勘定で払うべきであったが、準用財政再建団体になった頃から、資本勘定で組むようになり、国の方の助言等もあり、損益勘定の費用を押さえるためにそのような手法を取っていた。</p> <p>しかし、そのような手法は、例えば、人員整理など、一時的な場合には繰り延べも使えるが、今回、監査からの指摘があり、今回から損益勘定で組んだところである。</p> <p>国の方で会計制度の改正も数年後に予定されており、その中でも、退職給与金の繰延勘定への計上はできない、ということが盛り込まれる予定である。これらを踏まえて、今回改めたところである。</p>

(2) 鹿児島市交通事業経営健全化計画

委員の意見・質疑等	
1	<p>私が良いと思ったのは、市職員等との連携である。</p> <p>まずは、市職員等による市電・市バスの利用促進を促す、そして、局商品の販売を強化する、といった取り組みを盛り込んで貰ったことは、前進した部分ではないかと思う。</p>
2	<p>計画の表紙にある「赤字解消に向けて、年間あと2往復のご乗車をお願いします」について、沿線人口42万人にあと2往復してもらえば赤字解消に繋がるとの説明であったが、この沿線人口の定義はどういうものか。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>町毎の人口を集計したものである。</p> <p>町の境を運行している場合、町の中を運行している場合、そして、町の区域内は運行していないが、歩いてバス停までいける場合、例えば、堀江町、泉町等においては、バスは町内を運行していないが、近くのバス停は利用できる環境にある。</p> <p>この3つのパターンを合計すると、人口は約42万人であった。</p>

委員の意見・質疑等	
3	<p>バス運転士の嘱託職員の割合について、60%を上限とするとはどういうことか。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>中央営業所、桜島営業所、北営業所でバスを運行するのに、270名が必要であると考えている。</p> <p>計画を作った段階で、職員と再任用職員の比率が約34%、嘱託職員の比率が約66%であり、議会から、嘱託職員の比率が大きくなり過ぎている、是正するように、との指摘を受けた。</p> <p>そこで、法的根拠はないが、計画期間の28年度までに、嘱託職員の比率を60%以内にしていきたいと考えている。</p>
4	<p>管理の受委託について、一部、中央営業所の路線が含まれるということであるが、具体的にどういうことか。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>運行の効率性を考えた場合、現在、中央営業所から運行している路線のうち、北営業所から運行した方が望ましい路線が2路線あるため、この路線については、北営業所管内の路線に変更して、委託したいと考えている。</p>
5	<p>嘱託職員と再任用職員と言われたが、どう違うのか。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>再任用職員は正職員を退職した方で、嘱託職員は時給制であり、基本的には1年契約であるが、更新が可能になっている方である。</p>
6	<p>キャッチフレーズ「赤字解消に向けて、年間あと2往復のご乗車をお願いします」を、一般市民に向けて、どのようにアピールするのか。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>市民のひろばへの掲載、ポスターへの掲載、車内での掲示、又は、地域公民館、地域福祉館等への掲示など、市民の理解を得られるよう、あらゆる機会を通じて広報に努めたい。</p>

委員の意見・質疑等	
7	<p>キャッチフレーズは、バス停に掲示すると良いのではないか。</p> <p>バス停に待っていると、市バスの前に他社のバスが通過し、皆さん、そのバスに乗車してしまう。バス停にそのような掲示があったら、市バスを選んで乗車してくれる人も増えると思う。</p> <p>日頃からバスを利用している人の目に留まる場所に掲示したら、効果があると思う。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>バス停への掲示も一つの手法だと思うので、検討させていただきたい。</p>
8	<p>オリジナルグッズは、どこで販売しているのか。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>乗車券発売所で販売している。</p> <p>このほか、ゆーゆーフェスタの際にも、手作りのオリジナルグッズを含め、販売している。</p> <p>現在、業者に発注して作製したオリジナルグッズは、「ミニタオル」がある。</p> <p>どのようなオリジナルグッズを作るか、そして、販路の確保が大事だと考えているので、今後、調査してまいりたい。</p>
9	<p>市職員へのアンケート調査は、そんなに難しいものではないように思う。</p> <p>市電・市バスを利用できる人は利用してください、との働きかけることが大事だし、そのための調査だと思う。</p> <p>路線の見直しの参考の意味もあるが、利用の意識付けを市職員から行っていく、ということを是非お願いしたい。</p>
10	<p>九州新幹線開業による、GWにおける利用者の動向は。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>カゴシマシティビューは、前年度比約50%の増、定期観光バスは前年度比約68%の増となっている。これらは、新幹線効果だと考えている。</p>
11	<p>観光客数は確実に増えているので、これを確実に取り込んで増収に繋げて貰いたい。</p>

委員の意見・質疑等	
12	<p>自分が委員になり、初めに発言した内容は、乗っている人にもっと乗ってもらおうという発想ではなく、乗っていない人に乗ってもらおうという発想をしないと、パイが大きくなるということを話させていただいた。抜本的な改革としては、唯一の解決策であると思っている。</p> <p>計画には掲載しづらい内容だと理解するが、乗っていない人に乗ってもらおうような方策について、何か検討していることがあるか。 (事務局回答)</p> <p>交通局では、環境に配慮した取り組みやバリアフリー化に努めている。他局と連携しながら、これらのことをもっとPRする必要があると考えている。</p> <p>そのためには、市政出前トーク等で地域の公民館等に出向き、PRに更に力を入れてまいりたいと考えている。</p> <p>健全化計画に関するPRも合わせて、どのような広報をしていくべきか、今後検討してまいりたい。</p>